

民衆の  
声  
ボイス

# VOICEよこはま

公明党横浜市会議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 <http://www.yhkomei.com/> E-mail:shikai@yhkomei.com



林市長に要望書を手渡す仁田まさとし団長(右から2人目)

## 233項目の予算要望書を 林文子市長に提出

平成22年度予算編成にあたって公明党横浜市会議員団(仁田まさとし団長)は、最重要要望として「世界から選ばれる都市」「子育て支援の充実」「高齢社会に安心」「健康社会の構築」「横浜経済の活性化」「市民本位の行政運営」の6つのテーマのもとに33項目、重点要望として13分

# 市民生活の安心と 地域経済の活性化を要望

野122項目と区要望78項目からなる予算要望書を提出しました。

## 平成22年度予算への 基本姿勢

平成22年度は、すでに530億円の収支不足が見込まれていますが、財源不足を理由に市民生活の「質の低下」を招くことがあってはならないと考えます。これまで公明党は行政評価システムを強化することや、事業仕分けによる行政コストの最適化を求めてきました。

横浜市は本年4月「しごと改革推進室」を設置し、抜本的な事務事業の見直しに取り組み始めました。こうした改革の成果が22年度予算編成に現れることを期待します。

今後とも、皆さまの声を施策に活かし、市民生活の安心と地域経済の活性化を目指し取り組んでまいります。



諸団体と政策懇談会を開催

## 新型インフルエンザの予防ワクチン接種が始まりました

妊婦や基礎疾患を有し入院している方などを最優先に接種が始まっています。12月7日からは、基礎疾患を有する方全員と1歳～小学校3年生への接種が始まる予定です。その後順次、優先接種対象の方へ接種が行われます。しかし、ワクチン供給等の状況により変更もありますので横浜市ホームページ、または、横浜市発熱相談センター(ワクチン相談窓口)までご確認ください。

ワクチン接種に関する情報は .....

〔横浜市ホームページ〕〔横浜市発熱相談センター(ワクチン相談窓口)〕へ

ホームページ: <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hokenjo/>

電話: **045-671-4183** FAX: **045-664-7296**

(平日9時～17時)

# 決算特別委員会ダイジェスト

## 連合審査

### 《林文子市長の財政運営方針を確認》

例年、決算特別委員会の初日は、第一・第二特別委員会が合同で行う「連合審査」となります。今回は、任期途中で辞任した前市長を参考人として招致するため、また新市長でもあることから、日程を二日間として行うこととなりましたが、開会前日、Y150の責任者であった野田由美子副市長が突然辞任するなど、異例づくめの決算特別委員会連合審査となりました。公明党市議団を代表して質問に立った石井睦美議員は、市長

が選挙公約に「市債発行額を前年度比5%削減する」と掲げていたが就任後の所信表明演説では「抑制」という表現に変わったことに対し、政策の後退ではないかと指摘するなど、新市長の財政運営に関する考えを質しました。

### 《横浜開港150周年記念事業は充分な総括を》

第2日目においては、横浜経済の活性化策や、高齢社会における市民生活の安心、また新政権による国予算組み替えの影響について質問しました。横浜開港150周年事業については、徹底した情報公開のもと議会での充分な審議による総括をすべきと主張しました。

**市内2地区で「生活支援バス」運行へ**

現行路線のやりくりで、バスサービスの利便性を向上させる取組です。

選定された緑区十日市場・上山地区と中区根岸・山元町地区は、ともに地域の高齢化が進んでいる上に、地形的条件から通院や買い物、公共施設への移動が相当地に不便であり、地域からの改善要望も多く寄せられています。

今年12月中旬から午前1便午後1便で試験運行を開始することですが、町内会や商店会、病院等とも連携し、ぜひ継続的に運行できるよう調整することを要望しました。



横浜市交通局

**中小企業への情報発信に工夫を**

現下の厳しい経済状況下で、中小企業経営はますます難しくさを増しています。

横浜市では横浜メディア・ビジネスセンターJFBに、経営に関する様々な相談を受け付けるワンストップ窓口を設置しています。



早期にご相談をという、その名も「転ばぬ先の杖診断事業」や、廃業などを経験した方の声から生まれた「再挑戦支援事業」等といった情報が、必要な方に的確に届けられるよう工夫し、横浜経済を支える中小企業の方となるよう要望しました。

経済観光局

**保育所空き定員への対応で待機児童解消を**

今年4月1日時点での認可保育所待機児童は1千290名であり、保育所を増設しても需要が満たされない状況と発表されました。しかし、既存の認可保育所と横浜型保育所に「空き定員」があるのも事実です。

こども青少年局は、交通の便が悪い保育所に通園バス購入費を助成する措置を泉区と瀬谷区で講ずるとともに、複数の保育所と駅を循環する送迎保育ステーションといった事業も検討しています。

一方、認可保育所よりも助成額の低い「横浜保育室」には、保護者負担を軽減することで児童を確保し経営を安定化させることが必要と訴え、助成の拡充を検討する旨の答弁を引き出しました。



こども青少年局

**在宅障害者手当に代わる「将来にわたるあんしん施策」を**

在宅障害者手当の現金給付は、平成22年4月に廃止され、親亡き後など将来にわたってのあんしんに必要な施策へと転換することになっています。

11月末まで「障害者プラン説明会」を行い、「将来にわたるあんしん施策」等についての市民意見を直接伺っていきますが、参加することができない多くの方々にも意見交換の内容をお知らせすべきと訴えました。



また、発達障害への支援も明確に位置づけるよう要望するとともに、廃止する在宅障害者手当の財源全額が「あんしん施策」に余さず反映されるよう要望しました。

健康福祉局

# 政調最前線

横浜の未来を拓き市民のお声を形にするため、政調(政務調査)活動に取り組んでいます!

## コミュニティサイクル社会実験

みなとみらい21～関内、山下町地区において「コミュニティサイクル」の社会実験が始まりました。CO<sub>2</sub>を排出する自家用車に代わる都市の交通手段として安価な料金で自転車レンタルできるシステムです。従来型のレンタサイクルとは異なり、一定のエリアに複数のサイクルポートを設置し、自由に貸出・返却ができます。

今回の社会実験を通して、走行環境やマナー等の課題についても考えたいと思います。



## 介護総点検

介護サービスを受ける人、提供する人、また制度そのものについて、皆様の率直なご意見をお聞かせいただく介護総点検を開始しました。

現場の声から改善に取り組んでまいります。



## 日本語を大切にする教育を視察

教育特区の認定を受け、文部科学省の指導要領によらない独自の教科「日本語」の授業を行っている世田谷区立の小・中学校を訪問しました。この日は、小学5年の「短歌」や中学1年の「哲学」の授業を参観する機会が得られました。自分の考えや思いを表現する力を伸ばすこと等をねらいとしていることは、横浜市の教育の重点施策「国語力の向上」にとって重要な観点と考えます。

## 駐車場の緑化でヒートアイランド現象対策

駐車場の緑化で、ヒートアイランド現象の緩和を図ろうとする試みです。

水やりがいらず、車からの放熱や踏圧への耐性にも対応する新品種の植物「クラピア」のブロック(SBIR※認定商品)を用いて、市庁舎駐車場にて実験施工しました。このような取り組みについては、環境対策と中小企業支援策として進めたいと思います。

※Small Business Innovation Research (横浜市中小企業技術革新制度)



## 新型インフルエンザ対策を調査

横浜市内でも引き続き「警報」レベルにある新型インフルエンザの今後の対策を調査するため、大流行を経験した沖縄県福祉保健部を訪問しました。

沖縄県では県民への予防啓発等に努めてきたほか、医師会や看護協会との連携により診療体制・相談体制の強化を図り、小児医療情報ネットワークを構築しました。米軍関係施設との連携や観光客・県民への情報提供のありかたは、地域の「社会機能をどう守るか」との観点に立脚しています。横浜市においても危機管理を進めるなど、今後の施策に反映してまいりたいと考えます。



## 仁田まさとし市議の介護総点検



# 「介護」について、あなたのご意見をお聞かせください

公明党横浜市会議員団 南区政務調査事務所代表  
横浜市会議員 **仁田まさとし**

▶該当する項目を丸で囲んでください。

アンケート回答者性別：( 男・女 )

〃 年齢：( 10代・20代・30代・40代・50代・60～64歳・65歳以上 )

## Q1 「介護保険制度」をご存知ですか

- ① 良く知っている
- ② ある程度知っている
- ③ あまり知らない
- ④ 知らない

## Q2 介護についてどんな不安がありますか (複数回答可)

- ① 自分自身や家族が寝たきりや認知症になるかもしれないという不安
- ② 介護についてどこに相談してよいか分からない
- ③ 経済的負担がどれくらいなのか心配
- ④ 介護のために仕事を続けられないかもしれない
- ⑤ 老老介護になってしまい介護できるか心配
- ⑥ 特別養護老人ホームなど介護施設が不足して入所できない
- ⑦ 在宅介護は肉体的、精神的負担が重く、続けられるか心配
- ⑧ その他( )

## Q3 仮に、あなたや家族に介護が必要になったとしたら、どこで介護を受けたいですか

- ① 自宅
- ② 入所系の介護施設
- ③ 病院
- ④ その他( )

## Q4 あなたや家族が介護保険サービスを利用していますか

- ① 自身が利用している
- ② 家族が利用している
- ③ 要介護者がいないので利用していない
- ④ 要介護者がいるけど利用していない
  - イ. 家族介護で間にあっている
  - ロ. 利用者負担が重いので利用していない
  - ハ. サービスをしてくれるところがない
  - ニ. その他( )

## Q5 介護保険料についてどう感じていますか

- ① 高すぎる
- ② 今の程度でよい
- ③ もう少し高くてもいいからサービスを充実してほしい
- ④ 保険料がどの程度か知らない
- ⑤ その他( )
- ⑥ ①～③を選ばれた理由を、もう少し詳しく教えてください( )

## Q6 介護職として働いてみたいですか

- ① 社会にとって重要な職業なのでチャンスがあればやってみたい
- ② 重労働のようなので、あまりやりたいとは思わない
- ③ 賃金が低いようなので、あまりやりたいとは思わない
- ④ 他に職が見つからなければ挑戦するかもしれない
- ⑤ その他( )

ご回答は.....

◎公明党横浜市会議員団南区政務調査事務所宛にFAXでお願いします。

◎期間は12月25日です。〔FAX.045-826-0998〕